



第9回 遠軽IC道の駅検討協議会 議事概要

平成29年1月18日(水) 午後1:30～
遠軽町役場 3階 大会議室

1. 開会

- 加藤総務部長挨拶

2. 話題

(1) 報告

- 新委員の紹介について

(事務局説明)

・名簿のとおり委員の変更があり、紹介する。

①前遠軽商工会議所会頭の佐々木雅昭様に替わり、渡邊博行様が新たに会頭となり、引き続き委員と座長をお願いさせていただく。

②前(一社)えんがる町観光協会長の渡邊博行様に替わり、遠藤利秀様が新たに会長となり、今回より委員となった。

③前遠軽青年会議所理事長の橋口理教様に替わり、梅田弘胤様が理事長となり、今回より委員となった。

- 前回協議会の結果について 【参考資料1】

(事務局説明)

・大まかな部分では、今後のスケジュールや、道の駅長等の流れについての議論があった。そういった点について、今回、協議会の議題として挙がっている。また、その他の詳細についてはお目通しいただきたい。

(2) 議題

- 遠軽IC道の駅設計図について 【資料1】

(事務局説明)

・前回の第8回検討協議会では、施設内外の詳細な配置や機能の方針について報告し、承認いただいた。今回は、前回の検討協議会以降、幹事会や専門部会で協議を重ねた上の決定事項を実施設計に反映させる図面について、説明させていただく。基本的には、大きく変わる部分は少なく、軽微な変更・修正の報告となる。

【全体配置平面図】

(事務局説明)

・ゆとりのある駐車場とするための配慮として、駐車区画線を二重線とし、駐車マスの幅を2.5mから2.7mに変更することで、使い勝手を良くしている。

・大型車両駐車スペースの配置を奥側に変更している。

・繁忙期を想定して、仮設駐車スペース93台分を見込んでおり、防災ヘリのヘリポートを併せて整



備する計画である。

(座長)

- ・平成29年度は大型車庫とその外構を先行して施工するということか。

(事務局)

- ・そういうことで計画している。外構工事の内容については、大型車庫周辺のゲレンデ側の切土と高規格道路側の盛土による造成となっている。

(委員)

- ・雪の捨て場所は、どのように考えているのか。

(事務局)

- ・高規格道路側には捨てられない。駐車場の雪については、当面は仮設駐車スペースに堆積し、スキー大会の開催時等、必要に応じて排雪する予定である。

(座長)

- ・駐車場と取付道路との高低差はどれくらいか。

(事務局)

- ・高規格道路本線との交差部分はボックスカルバートをくぐる形となり、盛土もあることから、かなりの高低差がある。

(座長)

- ・フロントスペースでは、主にどのようなことを行うのか。

(事務局)

- ・虹の広場の管理棟前で行っている物産まつりのようなイベント等、10張程度のテントの設置を想定している。

(委員)

- ・フロントスペースは芝生なのか。

(事務局)

- ・インターロッキング等を想定している。夏場はベンチ等を設置し、来場者に休んでいただけるような形を考えている。
- ・喫煙スペースについては、建物の脇に設置する予定である。一般的なサービスエリアにあるようなイメージで、雨風等がしのげる程度の施設を想定している。

【平面図・立面図】

(事務局説明)

- ・前回検討協議会からの大きな変更点は特にないが、今後とも、皆様の意見を聞きながら、より良い施設にしていきたいと考えている。

● 遠軽IC道の駅整備のスケジュールについて 【資料2】

(事務局説明)

- ・前回の検討協議会の際に、第9回で具体的なスケジュールをお知らせすることとしており、設



計・工事・スキー場の営業・駅長候補者の募集選定及び指定管理者の募集選定のスケジュール（案）の概略を示すものである。

【設計】

- ・基本設計、実施設計、開発行為実施設計は平成28年度中に完了する予定である。

【工事】

- ・平成29年度は大型車庫、大型車庫外構、倉庫解体（D型ハウス）を予定している。平成30年度は仮設事務所の設置、旧ロッジの解体、本体施設周辺の外構を予定している。本体施設の建築は平成30年度から31年度にかけて施工し、平成31年度には仮のロッジとして使用するレストハウスの解体、駐車場の整備、仮設事務所の撤去を予定している。
- ・平成31年12月のスキー場の営業開始に合わせて、ロッジを供用開始し、道の駅部分は部分的に供用開始したプレオープンの扱いとする予定である。また、グランドオープンについてはICの開通に合わせる方向とする。

【スキー場】

- ・例年12～3月の営業としている。平成28年度及び29年度の2年間はファーイーストカップの開催が決まっている。平成30年度以降は未定である。
- ・仮設ロッジの期間は、本体施設建築中の平成30年度の1シーズンのみとしている。

【駅長】

- ・前回の検討協議会では、早ければ平成29年度当初からの駅長候補者の任用も案として出ていたが、事務局では、まずはどういった施設にするのかを定めた中で、駅長候補者に何をやらせるのか、何を期待するのかでどのような人材が必要なのかが決まってくるため、駅長候補者の位置づけを明確にした上で、募集することが必要と考えている。そのためには、平成29年度当初からの任用は時期尚早と判断し、平成29年度中に募集要項を策定し、候補者の募集及び選定、そして平成30年4月からの任用としたいと考えている
- ・指定管理者が決まる前の候補者の任用となるので、誰が雇うのかという部分も大きな課題となっており、引き続き検討をしていく。また、平成31年11月頃の指定管理者の運営開始に合わせて、正式に駅長として指定管理者が任用するような流れを予定している。

【指定管理者】

- ・まずは、施設の設置条例の整備が必要となる。新設の道の駅では、通常、運営開始の半年から1年前には指定管理者が決まっているケースが多く、平成31年11月頃の運営開始から逆算して、約半年前の平成31年4月頃に協定、平成31年3月議会での指定管理者の議決、平成31年1月から2月頃の指定管理者の募集選定、平成30年12月議会での設置条例の提案・議決というようなスケジュールになるのではないかと。
- ・指定管理料の積算等の時間を考慮すると、平成30年度当初からの作業になることと、考えている。

（座長）

- ・表の下に注意書きで、「※このスケジュールはあくまでも（案）ですので、取り扱いには十分ご



注意願います。」とあるように、これは案であり、決定事項として話が進むことのないように、あくまでもこういった流れで進めていくということで認識していただきたい。

- ・国の事業の進行状況により工事が前後することや、駅長候補者の募集等についても前後することがあると思うので、ご理解いただきたい。

(委員)

- ・駅長候補者の募集にあたっては、本来であれば指定管理者が決まってからとなるのではないか。

(座長)

- ・本来の筋ではそうなるが、それからでは時間がない。工事は動いている中で、一日でも早くそういった候補者が決まって、一緒に進めていくことが望ましい。役場側としては、予算付け等のこともあり、余裕を持たせた中での案として、ご理解いただきたい。

● 遠軽IC道の駅を考える会の経過について 【資料3】 【参考資料2～4】

(事務局説明)

- ・10月以降の部会の進捗状況を示すものとなっている。

【産業・食部会】

- ・12月16日に行った第3回では、第2回以降、事務局で精査した出店・出品にあたっての基本ルール(案)をメインに協議した。
- ・共益費の部分について意見があった。基本的にはトイレや電灯などの共益部分の維持管理費となるが、フードコートの店舗や事務所ごとの使用率や収益、また、館内やトイレの清掃費や電気料などを総合的に考慮した中で、根拠ある金額とすることとし、裏付けの検証をした上での再検討事項となったことを報告する。
- ・参考資料2～3については第3回産業・食部会で提案した基本ルール(案)であり、参考資料2が屋内店舗、参考資料3が屋外店舗である。参考までにご覧いただきたい。
- ・第4回は体験部会を進めた中での方向性や、共益費の積算根拠について、事務局で精査した上で、改めて参集する予定である。

【体験部会】

- ・前回の検討協議会において、9月から10月にかけて、遠軽町在住の方を対象に体験プログラムに対する意見及び体験部会の参加者を募集しているところである旨を説明した。
- ・12人のメンバーが集まり、11月24日に第1回を開催した。(1人欠席)
- ・第1回は顔合わせということもあり、具体的な検討には至らなかったが、「町民の誇りとなるような目玉施設が欲しい」「施設の安全性はどう考えるのか」「誰をメインターゲットにするのか」といった意見があった。
- ・平成28年度内に全体の方向性を定めることを目指し、2～3月に1～2回の開催を予定している。
- ・参考資料4については、第1回体験部会で報告した意見募集の集計結果となっている、参考までにご覧いただきたい。総合的な見解としては、全体的に見ると、性別・年代問わず、「誰でも」



「気軽に」「手ぶらで」「安全」といった意見が多かった。また、町民の利用を念頭に置いた「町民に愛される施設」への期待と、町外の方の利用による収益面での期待も大きい。課題としては、誰をメインターゲットとするか、施設としてのテーマを明確にし、費用対効果を考えて、先進地の事例を参考にしながら、体験部会や検討協議会で検討していかなければならないと考えている。

【情報発信部会】

- ・立ち上げに向けて、平成28年度中に産業・食部会及び体験部会の方向性が定まった中で、事務局において、平成29年4月から情報発信部会のあり方を検討する。メンバーについては、事務局を中心に、必要に応じて関係各所から参集を図っていく。
- ・第1回は平成29年5月を予定しており、情報発信の役割や効果、危険性を含めた方向性の検討やオープンに向けたイベント等の企画及びスケジュールの調整をしていく。
- ・以後、産業・食部会及び体験部会と並行して、随時、開催していくこととする。

(座長)

- ・参考資料4の体験プログラムの集計結果において、可能性のあるものはどういったものなのか。

(事務局)

- ・あくまでも参考資料であり、意見をいただいたものについて集計し、分析した結果についての報告資料となっている。これから先、できる・できないの部分を体験部会で進めていくところである。

(アドバイザー)

- ・この資料は町民の方の、「こういうものがあればいいな」という段階の資料である。実際の投資額含めて、冬はスキー場でになることは間違いないので、夏はまったく関係ないものでも良いのか。ターゲットがどこになるかによって、ファミリー層で小さな子どもとなった瞬間にジップラインは必要にならないかもしれないし、そもそも、この道の駅はどんなお客さんに何を提供するのかというところを、しっかり固めることで管理運営方針が決まってくるのかなと思う。

(座長)

- ・スケジュール的には、体験プログラムと本体施設の建設は別物として考える方向性か。

(事務局)

- ・そのような計画をしている。

(アドバイザー)

- ・駅長候補者の募集も準じてくる。管理運営方針は年度内に定める前提のスケジュールで進んでいる。この3か月はバタバタするのではないか。



● 特徴の整理とメインターゲットの設定について 【資料4】

(事務局説明)

- ・ 現在、産業・食部会や体験部会において、「施設として何を指すのか」「誰をターゲットにするのか」といった意見が多く挙がっている。どちらも重要な要素である中で、未だ固まっていないというのが実情である。そこで、特徴を今一度整理した中で、施設の方向性を導きだし、メインターゲットを設定するものであり、これにより、今後、策定する管理運営方針の内容も定まってくるものである。
- ・ 5つのハード面の特徴で集客を図り、「遠軽、オホーツク」の魅力を発信することで、地域との“つながり”、歴史と未来との“つながり”、世代を超えた“つながり”という3つの“つながり”が生み出され、長期的なスパンで好循環をもたらし、町の発展へとつながるのではないかと考えている。
- ・ 主なターゲットの属性と滞在時間において、その内訳は、それぞれ大体かかるであろう、おおまかな時間を想定し、1つの目安として設定するものである。
- ・ メインターゲットの分析において、ファミリー層が求めるものとしての機能では、オムツ替え台、授乳室、パウダーコーナー、更衣室、喫煙室など、施設に盛り込むこととしている項目も多く、ファミリー層に優しい施設づくりが進められている。
- ・ ファミリーの内訳と利用等の有無については、必ずしもそうとは限らないが、主に利用すると思われるものについて分析している。これにより重点的に強化する部分が自ずと見えてくるのではないかと考えている。

(座長)

- ・ 今回の協議会までで、基本的な部分は定まったと認識している。この道の駅については、観光協会・商工会議所・役場の三者が一体となって、成功するものをつくり上げることが目的として、協議会を立ち上げた。これからは実施に向けて、細かい部分を詰めていかなければならない。出来上がったあかつきには、やって良かった、誰からも評価できる、おらが町の道の駅なんだと言ってもらえるよう、三者一体の関係を継続していかなければならない。
- ・ 12月に私と遠藤観光協会長と佐々木町長で、財務省と国土交通省に陳情に行った際にも、スキー場を併設する道の駅ということで「すごい」と言われている。どんなことがあっても成功させるという意気込みを持って、これからは本番という意識で、皆様の意見をいただきながら、実施に向けて進めていくので、よろしく願いしたい。
- ・ 次回以降は報告等があれば、随時、開催していく方針である。その間、意見等あれば声をかけていただきたい。

(アドバイザー)

- ・ 不退転の決意で成功に向かうとしたら、経営の責任者をできるだけ早く決めることが、一番大事ではないか。資料2のスケジュールを見ると、指定管理者が決まるのが平成31年の春。人を雇うということは、その人に対して責任を持って雇用して、マネジメントしてこういう風に考えて、こういう指示をしてこういう計画を作って動けという、駅長に対して指示をしなければいけ



ない。それが指定管理者だったら、平成29年のできるだけ早い時期に、遅くとも平成30年の春に指定管理者が決まっていれば、駅長の候補者の任用と同時なので、何とかなるのではないかな。

- ・ そうでなければ、中継ぎをする「道の駅設立準備室」のような、それがどこに入るのかわからないが、他の町を見ても、このように皆さんの合議制で進めていく形で、責任の所在がないというのは難しい。アドバイザーとしては、誰にアドバイスして良いかわからない状況である。
- ・ 来春から指定管理者が早く決まるように動くか、「設立準備室」のようなものができるか、この2つのどちらかが必要ではないかと考えている。これまでの蓄積は非常に内容も濃く、これを活かすためにも、いよいよ本番に入ってくる4月からは、そういった体制づくりを検討してはどうか。

(座長)

- ・ 民間レベルであれば、当然、スタートから責任者が決めていくこととなるが、自治体の場合は予算がついて回るので、スケジュールについてはあくまで案ということで、それについてはお任せいただきたい。町長含めて、一日も早くという発想は持っていると思う。指定管理は議会に対する事務等が色々あるが、そういった流れは作っていきたいと考えている。

(アドバイザー)

- ・ 資料4で出てきた「ターゲティング」は非常に大事な部分であり、すべてのメニューの提供、飲食店の選択、体験プログラムの選択もターゲットによって変わってくる。「ファミリー層」の設定は良いものの、小中高生といっても小学校低学年と高学年は大きく違ったりするので、そういった点は、これから細かく詰めていければ良いのではないかな。

(座長)

- ・ 町民が、親戚が来たときなどに「みんなで道の駅に行こう！」となるような施設を目指して、実動部隊は動いていくので、よろしくお願ひしたい。
- ・ スケジュールは案であり、前後することがあることを、再度、申し上げる。

3. 閉会

(配布資料)

- 参考資料1 第8回遠軽IC道の駅検討協議会 議事概要
- 参考資料2 出店・出品にあたっての基本ルール【屋内店舗】 (案)
- 参考資料3 出店にあたっての基本ルール【屋外店舗】 (案)
- 参考資料4 遠軽IC道の駅体験プログラム意見募集の集計結果について
- 資料1 遠軽IC道の駅設計図
- 資料2 遠軽IC道の駅整備のスケジュール (案)
- 資料3 遠軽IC道の駅を考える会の経過について
- 資料4 特徴の整理とメインターゲットの設定について (案)